



「あなたにとっての吹田って」をテーマに、市民のみなさんに自由な発想でメッセージをお願いしました。メッセージフォトはここで掲載している以外にも、令和3年(2021年)3月末まで80周年ホームページで公開しています。

We asked the citizens to share their dreams and sentiments on the theme "What Suita Means to You".

INTERVIEW

イラストレーター
中村 佑介さん

本誌のために表紙・裏表紙、そして吹田の四季を描いてくださった吹田市在住の中村佑介さんに、作品やまちについて思うことなどをお聞きしました。



今回描いていただいた作品について

表紙は、オフィス街と住宅街、そして自然と文化が共存する吹田市で暮らす老若男女を描きました。80周年を機にさらに未来へ向かうイメージにしようと、人物は前へと歩を進めています。

吹田の春夏秋冬を描いた作品は、ある男女の人生物語のようであり、一方ですべてが別人の1シーンのようでもある。そこは見る人それぞれで感じたように解釈していただければと思います。また、どの作品にも吹田市の地形やすいたんなどを描いているので見つけて楽しんでほしいですね。

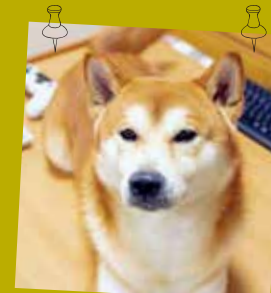
未来の吹田への思い

どこへ行くにもアクセスが良く便利なので、7年前から吹田に住んでいます。犬を飼って散歩するようになり、公園の植物など自然が多いのを感じますね。いろいろな企業や店舗もあって住み心地は抜群です。これから先は個性が加われば、さらにいいですね。例えば、芸術を愛するまちや動物の殺処分がないまち…と、何でもいい。どこの市町村にもない「吹田といえばこれ」といえるものを誇りにできるまちになってほしいと思っています。



イラスト制作の醍醐味とは

さまざまなクライアントから多彩な依頼があるので、これまで知らなかった世界を知るおもしろさがあり、描くチャレンジができます。今回に関しては自分の住んでいるまちなので、よく知っている吹田に加え、改めて調べて描いた場所などもありました。



愛犬・ぼんちゃん

Illustrations of the four seasons of Suita and the cover and back cover are portrayed by illustrator Mr. Yusuke Nakamura who lives in Suita City. Suita where nature and urban areas coexist, and the men and women of all ages who live there are depicted in the illustrations.

Profile

昭和53年(1978年)生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業後、ASIAN KUNG-FU GENERATIONのCDジャケットをはじめ、『夜は短し歩けよ乙女』『謎解きはディナーのあとで』の書籍カバーなど数多くの作品を手がけ、若者を中心に支持されている。